

03 | 葬祭会館

仙台・清月記
「みおくり邸宅」を相次いで開業

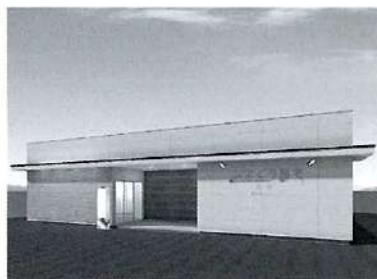


みおくり邸宅 愛子

梯清月記（本社仙台市宮城野区、社長菅原裕典氏）は、「清月記」「ファミリー」「斎苑」の3ブランドで展開しており、2018年からは家族葬会館ブランド「みおくり邸宅」の展開にシフト。この度相次いでオープンした。

まず仙台市青葉区に「みおくり邸宅 愛子」を5月21日にオープン。

JR仙山線陸前落合駅より徒歩5分に位置する同会館は、敷地面積923.27㎡、鉄骨造平屋建て、延床面積194.60㎡の規模。式場は20席という家族葬会館。5月21～23日の3日間にわたって行なったグラントオープン完成内覧会は、折込みチラシなどで告知。新型コロナウイルス感染症対策として、完全予約制とし、来場時間、来場人数を制限したうえで開催。コロナ禍でありながら来場者は200人を超えるという盛況で、館内見学が行なわれた。



みおくり邸宅 高森

施行目標は初年度60件。

そして6月4日には仙台市泉区に「みおくり邸宅 高森」をオープン。

仙台地下鉄南北線泉中央駅から車で10分に位置する同会館は、敷地面積736.88㎡、鉄骨造平屋建て、延床面積161.53㎡の規模で、こちらの式場も20席としている。

6月4～6日の3日間にわたって行なった完成内覧会は、愛子と同様に折込みチラシなどで告知し、こちらも完全予約制で実施し、200人を超える来場者があった。早期に予約が埋まったことから、オープン後の12日にも内覧会を開催。こちらも初年度60件を目標にしている。

これまでみおくり邸宅は5会館を展開しており、いずれも他用途物件からのコンバージョンであったが、今回の愛子、高森は新築とした。今後もコンバージョンか新築かを判断しながら、さらなる会館整備を行なっていく。

04 | 葬祭会館

長野・みつわ
小諸市内3か所目の家族葬会館



長野県小海町を拠点に葬祭事業を展開するみつわ（社長篠原耕一氏）は、5月1日、小諸市内に「家族葬会館 小諸東店」をオープンした。これにより、同社会館は県内8か所目、小諸市内3か所目となる。

JR小海線東小諸駅から車で約6分、上信越自動車道小諸ICから同約12分の国道18号沿いに立地する。

コンビニエンスストアの転用で、敷地面積1,716.83㎡、鉄骨造平屋建てで延床面積196.00㎡の規模。館内には式場（30席）、会食室（30席）、遺族控室、導師控室、遺体安置室などを配置。駐車場は17台分収容可能。

小諸市エリアのドミナント戦略を推し進めることでシェア向上を目指すとともに、小規模会館とすることで他社との差別化を図り、初年度36件、次年度48件の施行獲得を目指す。

天然木棺
Natural Wood

桐張棺
Paulownia

布張棺
Covered With Cloth

プリント棺
Covered With Print

ニューウェーブ
New Wave

小物
Fancy Goods

COSMIC CASKET

KYOEI

株式会社 共栄

● <http://www.kyoei-casket.co.jp/>

● e-mail : postmaster@kyoei-casket.co.jp

☎ 0847-57-8001〈代〉 FAX 0847-57-8853

〒729-3111 広島県福山市新市町金丸438-1